努力賞

ぼく・わたし

荒川区立汐入東小学校三年

清水 葵

やなぎだ先生、こんにちは。

わたしは「ぼく・わたし」という本を読みました。みんなにがてなことやとくいなことがあるという本です。やなぎだ先生は、にがてなことやとくいなことがありますか？

わたしは、かたづけが少しにがてです。つくえの上で絵をかいたり工作したあと、やったもののこつていて、お母さんにかたづけてねと注意されることがあります。とくいなことは絵をかくことや工作です。だいすきな絵や工作をしている時は、心がわくわくしてあつという間に時間がすぎ

ていつてしまいます。

私のお父さんは、そうじをするのがにがてだけど家の中のこわれた物をなおすのがとくいです。お母さんは、こわれた物をなおすのがにがてだけどすみずみまでそうじするのがとくいです。おたがいのとくいなことがおたがいのにがてなことを助けあっているんだと思いました。学校のお友達には、絵がとくいな子や歌がとくいな子や音読がとくいな子がいます。人それぞれにがてなこと、とくいなことがあるのだなと思います。みんな同じではなくて、それぞれにがてなこと、とくいなことがあつていいんだなと思いました。わたしもなにかひとつとくいなことをもち続けたいと思います。